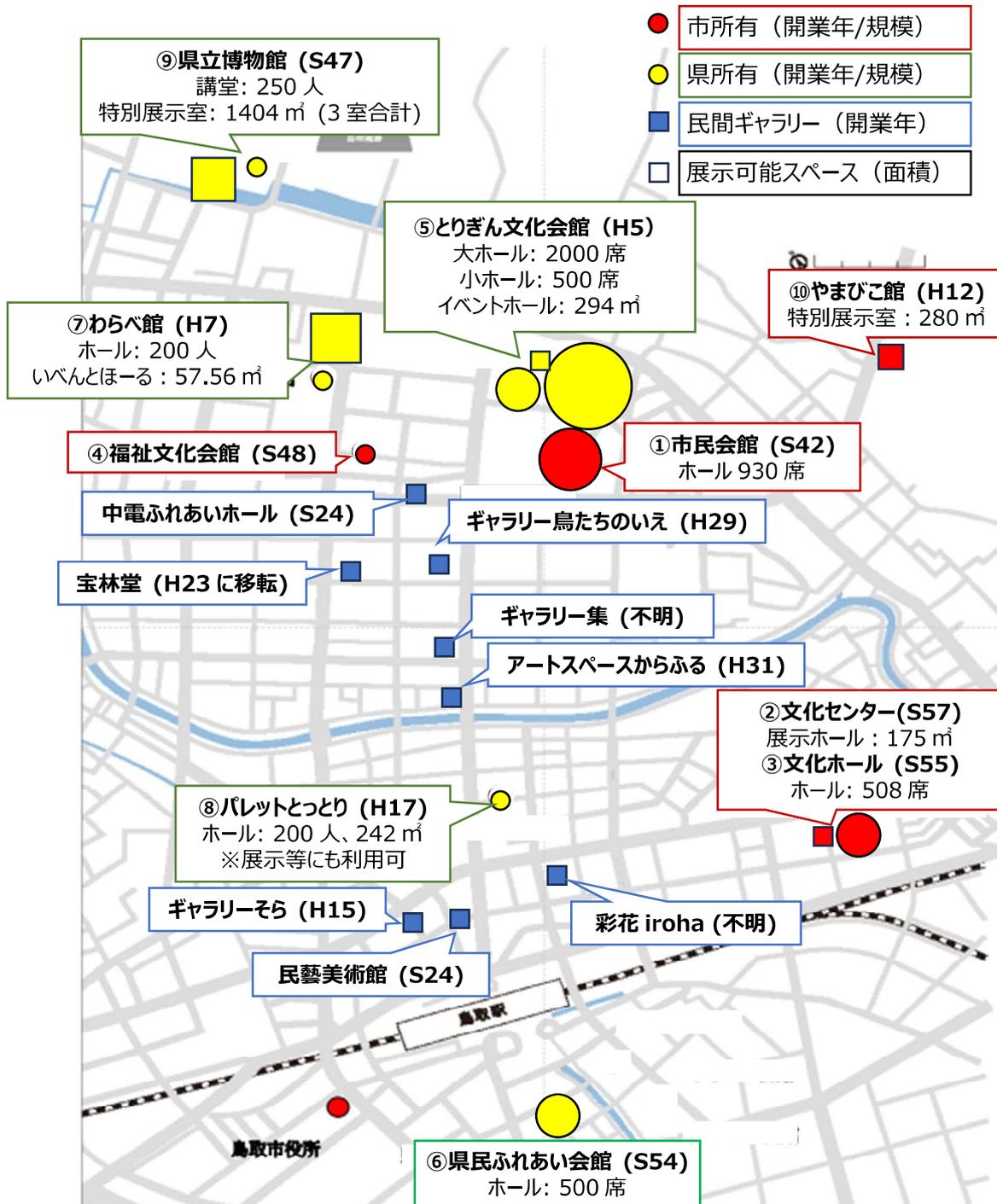


第2回有識者会議で頂いたご要望への対応

	委員	ご要望	対応方針
1	五島会長	第2回有識者会議資料「中心拠点における文化施設の状況」に記載されている各施設について、開館年を追加してほしい	資料1-2「中心拠点における文化施設の状況」を更新しました。
2	五島会長	他事例調査について： 市民が自由に、積極的に使いこなせるような展示機能を持った施設があるか事例を確認して欲しい	資料1-3「他都市の事例について」を更新しました。
3	倉持副会長	施設利用の抽選で外れた人が、代わりにどの施設を利用しているかも確認できるようにあれば知りたい	施設管理者によると、抽選で外れた人は利用を別日に変更、もしくは他施設を利用している状況とのことです。他施設を利用する場合の利用先については把握しきれない部分ですが、Webアンケートにて、文化活動のために使用している施設を調査しましたので、資料2-3「鳥取市新たな文化施設に関するアンケート結果」をご参照ください。
4	木谷委員	他事例調査について： 他都市の展示系ホールの事例を共有してほしい	資料1-3「他都市の事例について」を更新しました。
5	五島会長	他事例調査について： クリエイターやアーティストが運営に参加し雇用されつつ拠点が広がっていくような事例が他にあれば参考になる	資料1-3「他都市の事例について」を更新しました。
6	齋藤委員	他事例調査について： 街中で人が集う施設である長野の犀の角や信州アーツカウンシルも事例として追加していただきたい	資料1-3「他都市の事例について」を更新しました。
7	木谷委員	他事例調査について： 他都市事例の施設整備に至るまでの検討の流れがわかれば共有してほしい	資料1-4「施設の整備・運営に向けた取り組み事例」の資料を作成しました。
8	倉持委員	他事例調査について： 他の事例でユニークな建物や注目すべきコンセプトがあった時、それがどうやって成り立っているのかが分かればやり方の議論もできると思う	資料1-4「施設の整備・運営に向けた取り組み事例」の資料を作成しました。

中心拠点における文化施設の状況

1. 市内の文化施設



※民間ギャラリーはHP等で貸スペース（もしくは展示会の実施）が確認できた施設を記載

2 施設の概要

①市民会館 (S42)

【基本情報】

所在地	鳥取県鳥取市掛出町 12 番地	
施設概要	敷地面積：4,137 m ² 、延床面積：3,672 m ²	
構成機能	ホール(930 席)、大会議室、小会議室、控室 ほか	
	○大ホールのスペック 【舞台】間口 18.8m、奥行 9.7m、高さ 7m 【花道】幅 2m、長さ 4.4m【搬入口】間口 3m、高さ 2.4m 【客席】1 階：355 席 ※前 2 列（中央は 3 列）取外し可 2 階：325 席 3 階：250 席 車椅子席：3 席	
指定管理者	一般財団法人鳥取市教育福祉振興会	

【利用状況】

	H27	H28	H29	H30	R1
利用人数 (人)	64,420	57,257	51,745	60,210	66,074

(R1)	大ホール	控室 1	控室 2	控室 3	大会議室	小会議室	控室	ホワイエ	文化サロン
稼働率 (%)	51.6%	32.0%	26.6%	64.3%	70.1%	45.3%	44.9%	2.3%	2.5%

【ハード面の課題】

- 施設・設備に関する主な課題は下表のとおり。なお、平成 22 年度に耐震性強化、客席・客席照明の取替え、舞台吊物・舞台搬入口等の大規模な改修を実施

建物等	<ul style="list-style-type: none"> 地下床面劣化、及び屋上防水劣化により雨漏りが発生 エレベーターは未設置。2 階席、3 階席、舞台袖への移動手段は階段のみ 舞台及び舞台袖やホワイエが狭い、駐車場が不足 (63 台うちハートフル 4 台) 構造上、大ホールの使用時に他の団体の会議室等使用が不可 大型搬入車両は、国道から施設横まで 長い距離を後進する必要あり
設備等	<ul style="list-style-type: none"> 大ホール・ホワイエの空調、漏電防止遮断機、高圧変圧施設、非常用設備等が老朽化。空調の温度設定が不可。冷凍機は製造終了したフロンガスを使用 舞台の天井反射板変角装置、スクリーン、各種幕、吊物等が老朽化 舞台床下は地盤沈下への対応としてジャッキアップしており、耐荷重に限度があるほか、床材の劣化への対応として過去 2 回研磨しており、これ以上研磨ができない 加圧給水ポンプがないため、水の安定供給ができない トイレの絶対数が不足 (23 基)。洋式化も未完了 (14 基が和式)

(出典：HP、基本方針から作成)

②文化センター（S57）

【基本情報】

所在地	鳥取県鳥取市吉方温泉三丁目 701 番地	
施設概要	敷地面積：7,371 m ² （文化ホール含む） 延床面積：6,098 m ² （文化ホール含む）	
構成機能	①鳥取市生涯学習センター 大会議室、展示ホール、多目的室、会議室 5、託児室 ②鳥取市こども科学館 科学館ギャラリー、展示スペース、工作室、陶芸室、パソコン室 ③鳥取市視聴覚ライブラリー	
指定管理者	一般財団法人鳥取市教育福祉振興会	

【利用状況】

	H27	H28	H29	H30	R1
利用人数（人）	56,122	65,241	73,105	66,402	45,682

(R1)	会議室 1	会議室 2	会議室 3	大会議室	文化活動 ブース	託児室	展示ホール
稼働率（%）	67.1%	44.6%	81.1%	51.5%	39.6%	30.1%	38.4%

【ハード面の課題】

- 施設・設備に関する主な課題は下表のとおり。なお、平成 14 年度に外壁タイル改修工事、平成 17 年度に建築・機械・電気に係る改修工事、H21 年に屋上消火用補給水槽改修工事、平成 25 年度に内地地盤補強工事・事務所系統空冷ヒートポンプチラー圧縮機整備、H30 年度・令和 2 年度に空調設備改修（建築・機械・電気）工事を実施

建物等	<ul style="list-style-type: none"> 屋上防水劣化、外壁サッシシーリングの劣化により雨漏りが発生。 外壁が劣化。崩落のおそれあり。※過去に崩落あり 正面入口ポーチと土間の磁器タイルなどが破損 駐車場が不足（87 台第 1 駐車場 31 台うちハートフル 3 台、第 2 駐車場 56 台うちハートフル 2 台） 駐輪場施設が劣化
設備等	<ul style="list-style-type: none"> トイレの洋式化が未完了（21 基中 9 基が和式） 非常用発電機、エレベーターが老朽化。エレベーターは部品生産終了

（出典：HP、基本方針から作成）

③文化ホール (S55)

【基本情報】

所在地	鳥取県鳥取市吉方温泉三丁目 701 番地	
施設概要	敷地面積：3,639 m ² 、延床面積：2,487 m ²	
構成機能	ホール(508 席)、練習室 3、控室 3 ほか	
	<p>○ホールのスペック</p> <p>【舞台】間口 15.5m、奥行 11m、高さ 6m</p> <p>【搬入口】間口 3m、高さ 5m 【床面積】 416.5 m²</p> <p>【座席】固定：508 席、身障者席：5 席 (立見：76 人)</p> <p>○練習室のスペック</p> <p>練習室①：113 m²、定員 40 名、練習室②；85.4 m²、定員 30 名、練習室③：40.5 m²、定員 15 名</p> <p>※練習室①の設備：</p> <p>姿見 譜面台 ホワイトボード 長机 パイプ椅子</p> <p>空気清浄機 除湿器 コンパクトグランドピアノ (料金別)</p>	
指定管理者	一般財団法人鳥取市教育福祉振興会	

【利用状況】

	H27	H28	H29	H30	R1
利用人数 (人)	46,693	48,163	42,985	46,346	41,109

(H30)	ホール	練習室 1	練習室 2	練習室 3
稼働率 (%)	53.1%	76.1%	70.9%	87.3%

【ハード面の課題】

- 施設・設備に関する主な課題は下表のとおり。なお、平成 27 年度にトランス取替修繕、令和 3 年度に吊天井耐震改修 (建築・機械・電気) を実施

建物等	<ul style="list-style-type: none"> 外壁が劣化。崩落のおそれあり エレベーターは未設置。地下 1 階練習室、2 階席への移動手段は階段のみ 舞台、舞台袖、ホワイエが狭い 内外壁、床面 (ステージ含む) 等に亀裂あり 近隣住民から騒音に関する苦情あり
設備等	<ul style="list-style-type: none"> 空調設備が老朽化。空調は温度設定不可。冷凍機は製造終了したフロンガスを使用 舞台照明設備が老朽化。照明操作卓はデジタルに更新したが、配電はアナログのまま 調光装置は演出ごとに手作業による設定変更が必要なため、長時間の準備作業を要する。近年ではデジタル化が進んでいるため、主催者によっては使用方法が分からない 主催者が記録した舞台設定を、USB 等の外部媒体により反映することができない 楽屋とホールの空調設備が一体となっているため、冷暖房の単独利用ができない トイレの洋式化が未完了 (20 基中 11 基が和式)

(出典：HP、基本方針から作成)

④福祉文化会館（S48）

【基本情報】

所在地	鳥取県鳥取市西町二丁目 311 番地	
施設概要	敷地面積：1,551 m ² 、延床面積：4,021 m ²	
構成機能	・会議室 5 ・市文化センターサテライトオフィス：小研修室、研修室 3、学習ルーム、調理室、託児室	
指定管理者	直営	

【利用状況】

	H27	H28	H29	H30	R1
利用人数（人）	35,022	27,944	39,804	25,953	30,713

(H30)	2 F 会議室	3 F - 1 会議室	3 F - 2 会議室	3 F - 3 会議室	4 F - 1 会議室	4 F - 2 会議室
稼働率（%）	28.0%	23.0%	21.0%	3.0%	15.3%	18.1%

【ハード面の課題】

建物等	<ul style="list-style-type: none"> 耐震性能が満たされていないため、改修が必要 外壁コーキングの劣化により雨漏りが発生 外装が劣化（外壁コンクリート、塗装関係、屋上ペントハウス） 内装が劣化（床リノシート、アスベスト含有タイル）
設備等	<ul style="list-style-type: none"> 非常用発電機、避難用誘導灯、エレベーター、高圧変圧施設が老朽化。エレベーター部品は供給終了 トイレの洋式化が未完了（22 基中 18 基が和式）

（出典：HP、基本方針から作成）

⑤とりぎん文化会館（H5） - 梨花ホール・小ホール

【基本情報】

所在地	鳥取県鳥取市尚徳町 101-5	
設概要	敷地面積：32,056 ㎡、延床面積：19,515 ㎡	
機能	梨花ホール(2,000 席)、小ホール(500 席)、リハーサル室、練習室 4、展示室、会議室 8、フリースペース ほか	
	<p>○梨花ホールのスペック</p> <p>【舞台】 横幅 51.8m × 奥行 23m</p> <p>【プロセニウム】 間口 20m、高さ 14~10m</p> <p>【客席】 1階：1,294 席(+車椅子 10 席)※オーケストラピット使用時は 156 席減</p> <p>2階：316 席</p> <p>3階：380 席 (3 階を閉鎖し、1,620 席として使用可)</p>	
	<p>○小ホールのスペック</p> <p>【舞台】 横幅 20.8m × 奥行 6m</p> <p>【プロセニウム】 間口 11.6m × 高さ 5.4m</p> <p>【稼働舞台】 6 面 (28.5 ㎡ × 1 面、20.0 ㎡ × 2 面、15.0 ㎡ × 3 面)</p> <p>【客席】 スタッキング椅子：374 席</p> <p>電動式可動椅子：126 席</p>	
指定管理者	一般財団法人鳥取県文化振興財団	

【利用状況】

利用人数 (人)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
梨花ホール	102,216	104,621	122,819	115,375	118,905	98,792	13,891	50,673	71,681	71,668
小ホール	42,171	33,929	38,808	37,703	38,390	31,682	11,098	13,905	19,688	27,220

稼働率 (%)	R1	R2	R3
梨花ホール	51.2%	43.8%	55.7%
小ホール	63.4%	54.1%	49.8%

(出典：HP、利用実績 (鳥取市提供) から作成)

⑥県民ふれあい会館（S54） - ホール

【基本情報】

所在地	鳥取市扇町 21 番地	
施設概要	敷地面積：4,271 m ² （県有地）	
構成機能	ホール、会議室、資料室、研修室、講義室 ほか	
	<p>○ホールのスペック</p> <p>【最大席数】 487 席（内車椅子席 3 席）</p> <p>【間口】 14.0m</p> <p>【奥行】 5.5m</p> <p>【高さ】 5.1m</p> <p>【面積】 548.39 m²</p>	
指定管理者	公益財団法人鳥取県教育文化財団	

【利用状況】

	H31(R1)	R2	R3	R4	R5
利用人数	8,340 人	756 人	4,339 人	5,607 人	4,422 人
利用件数	63 件	8 件	53 件	68 件	53 件
稼働率	22%	6%	20%	25%	22%

（出典：HP、利用実績（鳥取市提供）から作成）

⑦わらべ館（H7） - ホール

【基本情報】

所在地	鳥取県鳥取市西町 3 丁目 202	
施設概要	建築面積：2,253 ㎡、延床面積：5,923 ㎡、 展示面積：943 ㎡	
構成機能	展示部屋（童謡の部屋、おもちゃの部屋）、イベントホール ほか	
	<p>○イベントホールのスペック</p> <p>【最大席数】200 席（可動式席）</p> <p>【ホール（ステージ除く）】縦 9.5m × 幅 13.5m</p> <p>【ステージ】縦 3.3m × 幅 8.0m（いずれも最大箇所の寸法）</p> <p>【面積】57.65 ㎡</p>	
指定管理者	公益財団法人鳥取童謡・おもちゃ館	

【利用状況】

	R2	R3
開館日数（日）	280	350
利用日数（日）	136	177
利用率（%）	48.6%	50.6%

（出典：HP 等から作成）

⑧パレットとっとり（H17） - 市民交流ホール

【基本情報】

所在地	鳥取県鳥取市弥生町 323-1	
施設概要	延床面積：2,526 ㎡、	
構成機能	市民交流ホール、商業テナント（飲食店、リラクゼーション等）ほか	
	<p>○イベントホールのスペック 【最大利用人数】200人 【ホール】242㎡ （半分に区切ることができ、会議・展示会・音楽会等多目的に利用可能。利用内容に合わせてレイアウトが可能）</p>	
施設管理者	鳥取商工会議所（指定管理ではない）	

【利用状況】

	R2	R3
開館日数（日）	280	350
利用日数（日）	136	177
利用率（%）	48.6%	50.6%

（出典：HP等から作成）

⑨ 県立博物館（S47）

【基本情報】

所在地	鳥取県鳥取市東町二丁目 124 番地	
施設概要	敷地面積：14,654 ㎡ 延床面積：9,699 ㎡	
構成機能	特別展示室、自然展示室、歴史・民俗展示室、講堂、臨時収蔵庫、史料閲覧室ほか ○講堂 【面積】 206 ㎡ 【定員】 250 名 ○展示室 【面積】 第1展示室：515 ㎡ 第2展示室：515 ㎡ 第3展示室：374 ㎡	
指定管理者	直営	

【利用状況（展示室）】

※鳥取県主催、鳥取市主催のものを除く、鳥取県立博物館展示室の貸館実績

利用件数（件）	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
第1展示室	2	3	0	4	1	2	2	0	2	2
第2展示室	1	4	1	5	1	2	2	0	2	1
第3展示室	1	0	2	3	2	1	0	1	2	1

出典：HP、貸館実績（鳥取市から受領）から作成

⑩やまびこ館（H12）

【基本情報】

所在地	鳥取県鳥取市上町 88		
施設概要	延床面積：4,007 m ² 、展示面積：775 m ²		
構成機能	展示室、特別展示室、研修室、ミュージアムショップ、喫茶コーナー ほか		
	○特別展示室 【面積】280 m ² 【収容人員】最大 120 名程度 【貸出備品】展示ケース、展示用備品、机、椅子		
指定管理者	公益財団法人鳥取市文化財団		

【利用状況（鳥取市歴史博物館）】

年度	R3	R4	R5
入館者数	29,157 人	27,878 人	26,227 人
研修室	7,805 人	39 人	84 人

【参考 R5 年度の常設展企画展・実績】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
来館者数（人） （常設展）	1,801	2,015	1,099	3,347	6,476	1,786	3,353	3,646	1,541	937	1,232	1,728	28,961
来館者数（人） （企画展）	0	0	0	8,880	14,851	0	2,315	2,151	2,116	0	1,704	1,518	33,535
貸館利用者数 （人）	0	1,249	2,845	432	2	783	439	179	252	735	15	1,228	8,159

（出典：HP、事業評価書等から作成）

他都市事例の紹介

分類	施設名	
音響に配慮した多目的ホール（固定席）	1	サントミューゼ（長野県上田市） 小ホール（320席）
	2	えずこホール（宮城県柴田郡大河原町） 大ホール
	3	サンポートホール高松（香川県高松市） 第1小ホール（312席）
	4	三原市芸術文化センターポポロ（広島県三原市） 大ホール（1,209席）
	5	長野市芸術館（長野県長野市） メインホール（1,292席）
	6	名取市文化会館（宮城県名取市） 大ホール（1,327席）
	7	滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール（滋賀県大津市） 大ホール（1,848席）
平土間対応可能な多目的ホール	8	水都やながわ（福岡県柳川市） 大ホール（803席）
	9	サザンクス筑後（福岡県筑後市） 大ホール（1,331席）
	10	山口情報芸術センター（山口県山口市） スタジオA（450席）
	11	安来市総合文化ホールアルテピア（島根県安来市） 小ホール（300席）
	12	サンポートホール高松（香川県高松市） 第2小ホール（308席）
平土間空間	13	えずこホール（宮城県柴田郡大河原町） 平土間ホール
	14	アオーレ長岡（新潟県長岡市） 市民交流ホール
	15	おにくる（大阪府茨木市） きたしんホール（多目的ホール）

※他都市事例はホール専門家の意見を参考に抽出

1

他都市事例の紹介（追加）

分類	施設名	
展示空間	16	札幌市民交流プラザ（北海道札幌市）
	17	金沢市民芸術村（石川県金沢市）
	18	東大阪市文化創造館（大阪府東大阪市）
	19	山口情報芸術センター（山口県山口市）
複数の小部屋の活用	20	高槻城公園芸術文化劇場（大阪府高槻市）
人が集まる施設	21	Le Lieu Unique（フランス・ナント市）
	22	太田市美術館・図書館（群馬県）
	23	山口情報芸術センター（山口県山口市）
	24	せんだいメディアテーク（宮城県仙台市）
	25	茅野市民館・美術館・図書室（長野県茅野市）
	26	札幌市民交流プラザ（北海道札幌市） 文化活動支援
	27	犀の角（長野県上田市）
地域で活動する団体	28	信州アーツカウシル（長野県）

2

サントミュージゼ（長野県上田市） 小ホール

音響に配慮した多目的ホール（固定席）

サントミュージゼは、北陸新幹線・しなの鉄道・上田電鉄別所線「上田駅」から徒歩約7分の場所に位置する。大小ホール、美術館、交流芝生広場など、芸術と人々が交流する場として整備された。

小ホールは、音楽、演劇、舞踊、講演会など、幅広いジャンルの演目に対応できるホール。左右に袖舞台を備え、**音楽利用時には袖舞台の仕切り壁が音響反射板としての役割を果たす。**

音響反射板なし



音響反射板あり



面積/寸法	220㎡(袖舞台含む)
収容人数	320席（最大372人収容） （1階席：288席（うち車椅子席4席）、バルコニー席：32席）
音響	デジタルミキシングコンソール、アンプリモートシステム、オーディオネットワーク（Dante）
舞台	可動バトン6本
照明	調光操作卓、ホリゾンライト、ボーダーライトLED器具
付帯施設	楽屋5室、主催者事務室

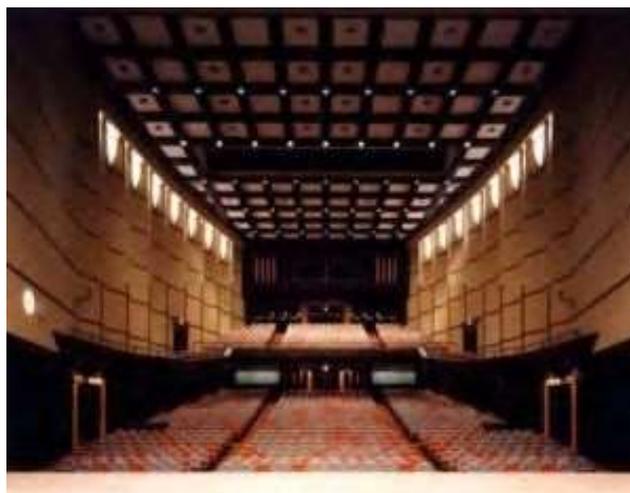
出典：サントミュージゼHP（<https://www.santomyuze.com/facility/map/dhall/>） 3
 JANET JOURNAL 2015 (Vol.8) サントミュージゼ（https://www.jatet.or.jp/journal/data/jatet_journal_2015_vol8.pdf）

えずこホール（宮城県柴田郡大河原町） 大ホール

音響に配慮した多目的ホール（固定席）

えずこホール（仙南芸術文化センター）は、J R大河原駅から2 km程の場所に位置する文化ホール。確かな芸術と文化の“創造の瞬間”を共有するための空間とされ、大ホール、平土間ホール・屋外劇場、練習室等が整備された施設。

大ホールは、音楽を中心に演劇やミュージカル、多様な公演などにも対応した、**音響特性のよいシューボックス型**のホール。天井もひときわ高くし、ゆたかな響きを生み出す。



面積/寸法	192㎡(間口16m×奥行12m)、高さ8～13m(プロセニアムまで)
収容人数	802席(1階：584席、2階：218席) 車イス席：常時4席(最大20席)
音響	IN/24本、OUT/20本
舞台	音響反射盤、スクリーン、仮設花道、吊物機構(電動)：絞り緞帳、暗転幕、カスミ幕7(内1共用)、袖幕4、引割幕2、バトン9（内2共用）、バック幕、ホリゾン幕
照明	容量280KVA、回路数165、ボーダーライト3(内1切替スイッチ付)、サスペンションライト3
付帯施設	楽屋4室

出典：えずこホールHP（<http://www.ezuko.com/index.html>） 4

サンポートホール高松（香川県高松市） 第1小ホール

音響に配慮した多目的ホール（固定席）

サンポートホール高松は、JR高松駅から徒歩3分の場所に位置する高松シンボルタワーの一施設。大ホール（1,500席）、2つの小ホール、会議室、市民ギャラリー等が整備された施設。

第1小ホールは、プロセニウム型のホールで舞台芸術の公演・発表や会議・集会にも利用可能。**音響反射板**をはじめとする舞台設備や**残響可変装置**を備える。

プロセニウム型



音響反射板あり



面積/寸法	プロセニウム開口：11m すのこ高さ：18m プロセニウム高さ：6～8m 主舞台部寸法：11×12m
収容人数	312席（前舞台席78席、車椅子席8席、親子席4席）
音響	プロセニウムスピーカー（センター）、サイドスピーカー（L,R）、ステージフロントスピーカー、シーリングスピーカー、ウォールスピーカー、固定はね返りスピーカー固定設備パワーアンプ、等
舞台	前舞台迫り・難聴者設備・残響可変装置・音響反射板・浮き構造
照明	調光操作卓、ボーダーライト・アップーホリゾンライト・ローホリゾンライト、フロントサイドスポットライト・シーリングライト、サスペンションライト等
付帯施設	楽屋3室、ホワイエ

出典：サンポートホール高松HP (<https://www.sunport-hall.jp/>) 5

三原市芸術文化センター ポポロ（広島県三原市） 大ホール

音響に配慮した多目的ホール（固定席）

三原市芸術文化センターは、JR三原駅から徒歩で20分で、市の中心部近くの宮浦公園の一隅に建てられたホール・リハーサル室・練習室などを備えた文化施設。市民の活動の拠点であり、憩いの場でありたいという思いから、「ポポロ（イタリア語で民衆・人々）」という愛称がつけられた。

大ホールには、フライタワーとオーケストラピットを完備。**音響効果に優れたシューボックス**（直方体）型と、客席から舞台がよく見える囲み型の融合により、本格的な芸術空間を実現。

幕仕様（舞台）



音響反射板あり



面積/寸法	間口：18m 奥行：13.6m（搬入口）高さ：5m 間口：5m プラットフォーム高さ 76cm
収容人数	1,209席（1階：853席 内車いす対応19席 2階：356席）
音響	プロセニウムスピーカー、サイドスピーカー、ステージフロントスピーカー、2階席補助スピーカー、固定FBスピーカー、ウォールスピーカー、アンダーバルコニススピーカー、ラインアレイ型スピーカー、移動用パワードスピーカー
舞台	音響反射板（吊り下げ式）、暗転幕、スクリーン、仮設花道、ピアノ、
照明	アップーホリゾンライト、ローホリゾンライト、ボーダーライト等
付帯施設	リハーサル室、会議室、練習室（2室）、ホワイエ

出典：三原市芸術文化センターHP (<https://mihara-caf.jp/>) 6

長野市芸術館（長野県長野市）メインホール

音響に配慮した多目的ホール（固定席）

長野芸術館は、JR長野駅から徒歩15分の場所に位置する、長野市民の文化芸術交流拠点。長野市役所第一庁舎との合築となっており、メインホール（1,292席）、リサイタルホール（293席）、アクトスペース（230席）、展示サロン（160㎡）、各種練習室等が整備された施設。メインホールは、音響効果に優れ、コンサートに最適な**シューボックス型**をベースに、2階席部分は多角形の囲み型を取り入れた本格仕様の音楽ホール。（音楽公演だけでなく、バレエ・ダンス・演劇・伝統芸能などの舞台芸術公演にも対応できる多機能ホールとしても利用可能）

音響反射板なし



音響反射板あり



面積/寸法	間口18m 奥行16.4m 高さ12.4m（※音響反射板使用時は、奥行：11m） 客席床から舞台床の高さ：90cm（プロセニウム形式 間口：12.7～17.7m 高さ：7.2～12m） 舞台スノコ高：23m オーケストラ迫 間口：19m 奥行：4.4m
収容人数	1,292席（1階席：916席 2階席：376席（うちバルコニー席10席）） オーケストラ迫使用時：1階客席前4列（106席）減 車椅子席：最大20席（1階可動席を撤去）
音響	プロセニウムスピーカー、サイドスピーカー、ステージフロントスピーカー、バルコニー下補助スピーカー、2階席補助スピーカー、シーリングスピーカー、固定はねかえりスピーカー、大型スピーカー、パワードスピーカー等
舞台	音響反射板、オーケストラ迫、幕類、仮設脇花道等
照明	アッパーホリゾンライト、ローホリゾンライト、カッターライト、パーライト、フォロースポットライト等
付帯施設	ホワイエ、楽屋エリア（主催者事務所、楽屋9部屋、スタッフ控室、ラウンジ、洗濯室）

出典：長野市芸術館HP (<https://www.nagano-arts.or.jp/>) 7

名取市文化会館（宮城県名取市）大ホール

音響に配慮した多目的ホール（固定席）

名取市文化会館は、JR名取駅から徒歩15分の場所に位置する、市民の文化創造・活性化のための拠点。大・中・小三つのホールと各種用途に応じた様々な会議室等が整備された施設。

大ホールは、**走行式音響反射板**、**各種舞台機構**を備えた本格的な音楽用・演劇用の多機能ホール。

プロセニウム形式



音響反射板あり



面積/寸法	奥行：19m 幅：35m（音響反射板設置時 間口：17.7m 高さ：12m） （プロセニウム形式 間口：12.7～17.7m 高さ：7.2～12m）
収容人数	1,350名（通常最大席数 1,327席：固定席1,279席 + スタッキング席48席）
音響	スピーカー（JBL）、ラインアレイスピーカー（音が垂直方向に広がるのを抑制し、水平方向にのみ音を広げることが可能なスピーカー）等
舞台	走行式音響反射板、暗転幕切穴、椅子迫り、オーケストラピット（平土間ピット）、電動・手動バトン、ライトブリッジ、ライトタワー、オペラカーテン、プロセニウムライト天井開閉、フロントサイド壁開閉、仮設花道、第1、第2、第3シーリング室、ピンスポット室、舞台用エレベーター
照明	アッパーホリゾンライト、サスペンションライト、ポーターライト、ライトブリッジ、プロセニウムライト等
付帯施設	ホワイエ（楽屋5室）、アーティストラウンジ（控室2室、予備楽屋2室）

出典：名取市文化会館HP (<https://bunka.natori.or.jp/>) 8

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール（滋賀県大津市） 大ホール

音響に配慮した多目的ホール（固定席）

名取市文化会館は、JR大津駅から徒歩20分の場所に位置する、芸術劇場。びわ湖ホールは、国内有数の4面舞台を備えた大ホール（1,848席）、演劇向けの中ホール（804席）や、アットホームな小ホール（323席）を備えた施設。

大ホールは、「オペラハウス」と「コンサートホール」2つの劇場形式が可能で、4面舞台をもつプロセニウム型劇場と、走行式音響反射板（シェル）を使用したシューボックス型コンサートホールの2つの劇場形式をもっている。

プロセニウム型（劇場）



音響反射板あり



面積/寸法	プロセニウム開口 間口：21.5m 高さ：12.5～15.5m ポータル開口 間口：14.4～23.4m 高さ：0.5～17m 奥行：主舞台23m（最大46m） オーケストラピット 126㎡ 横幅：21.5m 奥行：4.45m 最深：4.15m
収容人数	1,848席（1階：755席 2階：435席 3階：372席 4階：282席 車椅子席：4～16席） （オーケストラピット設営時 1,712席）
音響	メインコンソール（Soundcraft Vi6）、プロセニウムスピーカー、カラムスピーカーフライングスピーカー、聴覚障害設備（磁気誘導ループ）
舞台	走行式音響反射板、オーケストラ迫り、スライディングステージ（回り盆を内設）、遮音シャッター、暗転幕等
照明	ホリゾンライト、ダウンライト、シャンデリア、バーライト、ビームライト各種、フラッドライト各種、プロファイルスポット各種、効果器各種等
付帯施設	ホワイエ（楽屋5室）、アーティストラウンジ（控室2室、予備楽屋2室）

出典：滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールHP (<https://bunka.natori.or.jp/>)
Livewalker (https://www.livewalker.com/pickup/9820_biwako-hall.html#google_vignette) 9

水都やながわ（福岡県柳川市） 大ホール

平土間対応可能な多目的ホール

水都やながわは、西鉄天神大牟田線「西鉄柳川駅」から車で6分の場所に位置する。大ホール、イベントホール、研修室・会議室、ギャラリー、レッスンルーム・スタジオ、中庭、堀割広場、駐車場等を備えている。

大ホールは、プロの公演に対応する高い音響効果をもつホール。**1階客席は空気浮上式を採用しており自由なレイアウトが可能**なため、公演から展示までマルチな空間として利用可能。また、客席後方の壁を開放し、ロビーから広場、堀割と連続する空間を構成している。



1階客席は自由にレイアウト可能。客席後方の壁を開放し、ロビーから広場、堀割と連続させることも可能。



面積/寸法	間口：18.1m 奥行：16.5m、プロセニウム高さ9.0～11.0m 面積 559㎡
収容人数	803席（1階 可動席：559席、2階 固定席：240席、車椅子席：4席）
舞台	音響反射板、オーケストラピット、可変速バトン6本、スクリーン等
照明	アッパーホリゾンライト、サスペンションライト、ボーダーライト等
付帯施設	楽屋4室、楽屋事務室、楽屋ロビー、シャワー室、楽屋トイレ

出典：柳川市民文化会館 水都やながわ 公式HP (<https://suito-yanagawa.jp/facility/hall.html>)

サザンクス筑後（福岡県筑後市） 大ホール

平土間対応可能な多目的ホール

サザンクス筑後は、JR鹿児島本線「羽犬塚駅」から徒歩12分、九州新幹線「筑後船小屋駅」から車で15分の場所に位置する。大小ホール、イベントホール、研修室、ギャラリー、練習スタジオ、ベル広場を備えている。

大ホールは、音楽の催しを主とした多目的ホール。**前方客席はロールバックチェア**で、収納すれば**平土間として展示会やレセプション**など多目的に利用することができる。



平土間利用時



面積/寸法	間口：18m 奥行：16.2m、高さ7.2~9.0m(可動プロセニウム) 面積 772㎡
収容人数	1,311席 (可動席:734席、固定席:564席、車椅子席:4席、親子観劇室:9席) ※可動席部分を平土間利用する場合、レイアウトにより定員を増やすことも可能
音響	プロセニウムスピーカー、サイドカラムスピーカー(L,C,R)、シーリングスピーカー(L,R)、シーリングスピーカー、ウォールスピーカー、ステージフロントスピーカー、運営スピーカー、ホワイエスピーカー、3点吊りマイクフオンシステム、エレベーターマイクフオン
舞台	音響反射板、電動・手動バトン
照明	アッパーホリゾンライト、サスペンションライト、ボーターライト等
付帯施設	楽屋5室、主催者事務室、グリーンルーム、シャワー室、給油室

11

出典：サザンクス筑後公式HP (<https://www.sathankusu-chikugo.or.jp/facility/6112/>)

山口情報芸術センター（山口県山口市）スタジオA

平土間対応可能な多目的ホール

山口情報芸術センターは、JR新山口市駅から徒歩25分の場所に位置する、通称「YCAM（ワイカム）」として親しまれるアートセンター。メディア・テクノロジーを用いた新しい表現の探求を軸に活動し、展覧会や公演、映画上映、ワークショップなどのイベントを開催している。

スタジオAは、ダンスやライブ・コンサートをはじめとする公演から、大規模なインスタレーション作品の展覧会まで幅広いイベントを開催できるシアター（劇場）スタイルのスペース。舞台はエンドステージタイプとなっており、**ひな壇の客席を地下に収納することですべての空間をフラット**にすることも可能。



多用途での利用が可能



面積/寸法	舞台：幅14.4m×奥行き12.9m（舞台フロントラインから奥舞台前面可動壁まで）×高さ16m（スノコ下面まで） 平土間：幅20m×奥行27m×高さ9m（客席部の固定ブリッジまで）
収容人数	450名（客席設置時）
付帯施設	楽屋、調整室

出典：山口情報芸術センターHP (<https://www.ycam.jp/>) 12

安来市総合文化ホールアルテピア（島根県安来市）小ホール

平土間対応可能な多目的ホール

アルテピアは、安来駅から車で10分ほどの場所に位置する、安来市の文化・芸術の拠点。1,000席の大ホール、小ホール、展示室、市民ギャラリー、会議室等を併せ持つ施設。

小ホールは、音楽を主目的とした多機能ホールとなっている。平土間形式にも対応し、パーティー・宴会等も対応可能。



平土間利用時



面積/寸法	間口10.9m × 奥行8.7m × 高さ5.7m（※音響反射板使用時は、奥行：9m）
収容人数	座席数：300人 可動席：225席、移動席：71席、多目的室：4席
音響	音響調整卓、プロセニウムスピーカー、移動型サイドスピーカー、移動型はね返りスピーカー、舞台/客席シーリングスピーカー
舞台	音響反射板、吊物ボタン、袖幕ボタン、ホリゾン幕ボタン他
照明	調光操作卓、移動型調光器、スポットライト

出典：安来市総合文化ホールアルテピアHP (<https://www.artepia.jp/>) 13

サンポートホール高松（香川県高松市）第2小ホール

平土間対応可能な多目的ホール

サンポートホール高松は、JR高松駅から徒歩3分の場所に位置する高松シンボルタワーの一施設。大ホール（1,500席）、2つの小ホール、会議室、市民ギャラリー等が整備された施設。

第2小ホールは、自由自在なボックス型ホール。**移動観覧席と分割昇降式舞台**を備え、客席や舞台を収納することで、平土間ホールとすることが可能。



分割使用時



面積/寸法	25m×15m（平土間形式。2分割使用可、天井高さ 7.5m）
収容人数	308席（移動観覧席297席、車椅子席8席、親子席3席）（平土間使用時500席）
設備・備品	ピアノ
舞台	分割昇降舞台11分割、昇降式トラスフレーム18基、難聴者設備、ホール2分割可動間仕切り、浮き構造
付帯施設	楽屋3室、ホワイエ

出典：サンポートホール高松HP (<https://www.sunport-hall.jp/>) 14

えずこホール（宮城県柴田郡大河原町）平土間ホール

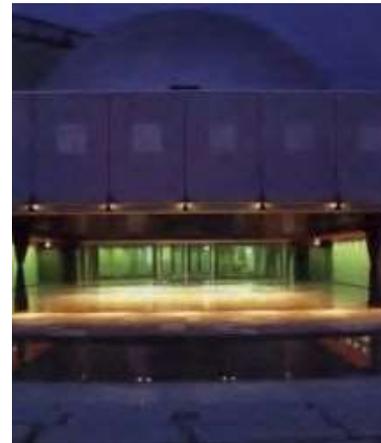
多目的に利用可能な平土間空間

えずこホール（仙南芸術文化センター）は、JR大河原駅から2km程の場所に位置する文化ホール。確かな芸術と文化の“創造の瞬間”を共有するための空間とされ、大ホール、平土間ホール・屋外劇場、練習室等が整備された施設。

平土間ホールは、大小2つの電動昇降ステージで多彩なステージバリエーションに対応可能。実験劇やコンサート、映写会、各種公演、パーティ、展覧会など幅広い利用ができる。また、屋外劇場に面したサッシは前面開放できることから、**屋外と一体となったイベント**（能、神楽、コンサートなど）が開催可能。



屋外劇場（300席）と一体利用が可能



面積/寸法	-
収容人数	約300席(可動式でステージ下に収納)
設備・備品	オープンエンド、アリーナ、床迫り
音響	IN/12本+ステレオIN4本、OUT/18本
舞台	バトン1、スクエアバトン6、水平幕、バック幕
照明	容量90KVA、回路数60(アッパー水平ライトのみ常設)
付帯施設	楽屋1室

出典：えずこホールHP (<http://www.ezuko.com/index.html>) 15

アオーレ長岡（新潟県長岡市）市民交流ホール

多目的に利用可能な平土間空間

アオーレ長岡は、JR長岡駅前の旧長岡市厚生会館及び周辺の公園等を含めた約1.5haの区域に、厚生会館機能を受け継ぐ“アリーナ”、冬でも様々な活動ができる“ナカドマ(屋根付き広場)”、“市役所本庁機能”を一体的に配置した複合施設。

市民交流ホールA、B、C、Dは多用途で利用可能。

市民交流ホールA



市民交流ホールB・C



市民交流ホールD



平土間空間に可動ステージ、電動可動席があり、多目的に利用可能。各種発表会や演奏会などの講演に用いられる。

ガラス張りのホールのホールで、ダンスや軽スポーツ、講演会や展示会に利用可能。ホールB・Cは可動間仕切りの収納により一体利用ができるようになっている。

面積/寸法	314㎡
天井高	4.8m
収容人数	電動可動席+イス席 200席（ステージ使用時） イスのみ：270脚
設備・備品	電動可動席(153席)、仮設ステージ一式、グランドピアノ、展示パネル、プロジェクター、長机、スタッキングチェア、講演台
床仕上げ	フローリング
音響	音響調整卓(ワイヤレスマイクシステム一式、BDデッキ、映写装置)
舞台	水平幕兼スクリーン、照明バトン、電動道具バトン
照明	アッパー水平ライト、フロントサイドスポットライト、ピンスポットライト
付帯施設	楽屋2室、楽屋トイレ

面積/寸法	ホール B…210㎡ ホール C…160㎡ ホール D…110㎡
天井高	2.7m
収容人数	ホール B…イス 84脚（スクール形式使用時） ホール C…イス 84脚（スクール形式使用時） ホール D…イス 60脚（スクール形式使用時） ※ホールB・C一体利用時はイスのみで300脚
設備・備品	電動可動席(153席)、仮設ステージ一式、グランドピアノ、展示パネル、プロジェクター、長机、スタッキングチェア、講演台
床仕上げ	ホール B・C…フローリング ホール D…カーペット
付帯施設	楽屋2室、楽屋トイレ

出典：アオーレ長岡HP (<https://ao-re.jp/>) 16

おにクル（大阪府茨木市）きたしんホール（多目的ホール）

多目的に利用可能な平土間空間

おにクルは、JR茨木駅と阪急茨木市駅の両駅を結ぶ「東西軸」と、元茨木川緑地の豊かな自然が広がる「南北軸」が交わる、まちの中心部に立地する施設。「育てる広場」をコンセプトに、ホールや図書館、子育て支援、市民活動センター、プラネタリウムなど、多くの機能が入る複合施設。きたしんホールは、平土間のホールで、椅子を並べることができる。**ステージは稼働床でフラットにすることも可能**。コンサートのほか、**ホールの扉を開け放った状態でのマルシェ等での使用も可能**。



エントランスと一体利用が可能



面積/寸法	291.1 m ²
収容人数	定員245人、ステージ使用234席
設備・備品	スクリーン・プロジェクター、演台、展示用大型移動壁、展示パネル、簡易ステージ 等
音響	ワイヤレスマイクロホン、ポータブルアンプスピーカー、音響再生機 他
舞台	リノリウム
照明	LEDスタンドライト
付帯施設	楽屋

出典：おにクルHP (<https://www.onikuru.jp/>) 17

札幌市民交流プラザ（北海道札幌市） 展示空間

展示空間

札幌市民交流プラザは、芸術文化劇場「hitaru」、文化芸術交流センター「SCARTS」、図書・情報館の3つからなる複合施設。**札幌における多様な文化芸術活動の中心的な拠点**であるとともに、市民の仕事や暮らしに関する課題の解決を支援し**多くの人が交流する場**で下記展示空間を有する。

SCARTSコート

SCARTSスタジオ（1・2）

SCARTSモール



- 発表や交流の場として活用できるオープンスペース
- ミニコンサート、講演会、**可動式の展示パネルを活用した作品展示**など、各種イベントに幅広く利用可能
- 音や光を遮る可動壁を設け、独立した空間としても活用可能

- 創作活動に適したガラス張りの多目的スペース
- ワークショップや各種講座を行うことができるほか、**作品の展示空間として利用可能**
- 2室つなげて利用可能（上記写真）

- 多くの市民や観光客にアピールできる屋内広場
- プロモーションイベントや物品販売などのほか、**作品展示、ポスター展示、観光PR展示にも利用可能**

面積	165m ²
収容人数	最大150人
高さ	5.3m
床	ビニル床タイル
施設利用例	室内楽コンサート、ピアノ演奏会、朗読会、 作品展示 、講演会、セミナー等
展示設備	展示用の可動間仕切り

面積	各82m ²
収容人数	スタジオ1：60名、スタジオ2：57名
高さ	3.7m
床	ビニル床タイル
施設利用例	講座・ワークショップ（美術、工芸、華道、書道、演劇）、 作品展示
展示設備	壁面にピクチャーレール

面積	1F（A・B）：各m ² 、2F：60m ² 、
高さ	1F（A・B）：5m、18.1m（吹抜部）、2F：10m
施設利用例	作品展示、ポスター展示、観光PR展示、物産展 、物販イベント、映画や公演のプロモーションイベント、自治体、団体の啓発キャンペーン等
展示設備	展示用パネル、展示用LEDスポット

出典：札幌市民交流プラザHP (<https://www.sapporo-community-plaza.jp/>) 18

金沢市民芸術村（石川県金沢市） アート工房

展示空間

金沢市民芸術村は、市民が演劇や音楽、美術などの芸術活動を行える施設として、1996年に誕生。展示に利用できる**アート工房**があり、「ジャンルや年齢にこだわらず、アマチュアからアーティストまで、**アートに関心のある方ならどなたでも使うことができる**。」とされている。また、年中無休・24時間・低料金で利用できる施設のため、一般的に文化施設が利用できない深夜・早朝の時間帯も利用可能

アート工房

- 発表や交流の場として活用できるオープンスペースで、**24時間利用可能**
- ジャンルや年齢にこだわらず、アマチュアからアーティストまで、**アートに関心があれば誰でも利用可能**
- ミニコンサート、講演会、**可動式の展示パネルを活用した作品展示**など、各種イベントに幅広く利用可能
- 音や光を遮る可動壁を設け、独立した空間としても活用可能



オリジナルTシャツを作ろう! 2017



面積	制作・展示部分：495㎡、階段部分：182.37㎡、倉庫部分：182.37㎡、
使用目的	制作、展示、美術研修
付随施設・設備	掲示板、展示台、展示備品、ワイヤー、スポットライト等

出典：金沢市民芸術村HP (<https://www.artvillage.gr.jp/>) 19

東大阪市文化創造館（大阪府東大阪市） 多目的室・創造支援室A

展示空間

東大阪市文化創造館は、優れた音響空間と上質な鑑賞環境を提供する大ホールと小ホールをはじめ、音楽・ダンス・会議・研修など各種用途に適した創造支援室や音楽スタジオなど20室を備えた施設。

多目的室

- 多目的室は遮音性や防振に優れており、小規模なライブやリハーサルに利用可能
- ダンス・演劇発表会、レセプション、**展示**、講演会、会議等にも利用可能



面積	234.9㎡
利用人数目明日	150名
天井高さ	7.1m
展示備品	ピクチャーレール、キャスター付展示パネル

創造支援室A

- 流し台が設置されており、工芸、絵画、手芸など、様々なジャンルの作品作りや**展示**等の利用に適している



面積	A1：48.5㎡、A2：28.4㎡
利用人数目明日	A1：18名、A2：12名
天井高さ	2.7m
展示備品	キャスター付展示パネル、作品棚、移動式ホワイトボード

出典：東大阪市文化創造館HP (<https://hiqashiosaka.hall-info.jp/index.html>) 20

山口県山口市にあるアートセンターで、メディア・テクノロジーを用いた新しい表現の探求を軸に活動しており、**展覧会**や公演、映画上映、子ども向けのワークショップなど、多彩なイベントを開催

スタジオB

- ・ **インスタレーション作品の展示を中心に**、ワークショップや小規模なライブ・コンサートなどを開催できるホワイトキューブ状のフラットなスペース
- ・ 左右の壁面を取納することも可能で、取納すると中庭に面したガラス面から自然光が差し込み、開放的な空間へと一変
- ・ また、天井に昇降式グリッドトラスが設置されているため、暗幕や照明を自由に吊ることが可能



面積	292.05㎡ (幅 16.5m、奥行き 17.7m)
高さ	7.8m

荷解きスペース



- ・ スタジオBで使用する大道具を荷解きするためのスペース
- ・ 電子部品をプリント基板に配置するチップマウンターや3Dプリンター、レーザーカッター等が設置されており、必要に応じて制作活動も可能

インフォメーション・スペース



- ・ 4台の大型モニターが設置されており、**イベントの情報を表示**
- ・ モニターは**映像作品の展示**にも使用可能
- ・ **インスタレーション作品の展示**、レクチャーなどのイベントを開催することもあります

出典：山口情報芸術センターHP (<https://www.ycam.jp/>) 21

高槻城公園芸術文化劇場は阪急高槻市駅から徒歩約8分、JR高槻駅から徒歩約13分に位置する市民の交流の場・文化芸術の創造発信拠点で、客席壁面の木製キューブが特色ある北摂最大級のトリシマホール。緑に包まれた音楽ホールの太陽ファルマテックホール、高槻初の本格的な演劇・ダンスに適したサンユレックホールに加え、**10室の中小スタジオがあり様々な活動に利用可能。**

施設機能一覧

機能	席数・定員・面積	使用例
トリシマホール	1505席	音楽、舞台、舞踊、ミュージカル、伝統芸能、興行公演、式典、発表会等
中ホール	602席	コンサート、発表会、講演会、伝統芸能等
太陽ファルマテックホール	205席	演奏会、小規模舞台、講演会等
サンユレックホール	168席	(本格的な) 演劇、ダンス
中スタジオ1	140㎡	リハーサル、音楽練習、講演会、研修会、楽屋等
中スタジオ2	76㎡	音楽系スタジオ (コーラス練習、楽器練習等)
中スタジオ3	66㎡	身体表現系スタジオ (ダンスレッスン、演劇稽古、会議等)
中スタジオ4	83㎡	会議系スタジオ (会議、イベント、展示等)
小スタジオ1	32㎡	身体表現系スタジオ (ダンスレッスン、演劇稽古、会議等)
小スタジオ2	26㎡	音楽系スタジオ (コーラス練習、楽器練習等)
小スタジオ3	38㎡	会議系スタジオ (会議、イベント、展示等)
小スタジオ4	33㎡	身体表現系スタジオ (ダンスレッスン、演劇稽古、会議等)
小スタジオ5	30㎡	音楽系スタジオ (コーラス練習、楽器練習等)
小スタジオ6	40㎡	会議系スタジオ (会議、イベント、展示等)
会議室	400人、413㎡	会議、研修会、懇親会、講演会、音楽発表会等
第1展示室	100人、108㎡	展示、会議、講演会、合唱練習等
第2展示室	100人、130㎡	※間仕切りを外せば200人規模の施設として利用可能
応接室	8人、28㎡	控室、少人数会議等
和室 (第1、第2)	51㎡、25㎡	茶会、少人数会議等

外観



エントランス



ロビー



出典：高槻城公園芸術文化劇場HP (<https://www.takatsuki-bsj.jp/tat/>) 22

複数の小部屋の活用

施設内の10室の中小スタジオは、主に**音楽系スタジオ**、**身体表現系スタジオ**、**会議系スタジオ**に分かれているが、それぞれ別の用途でも利用可能で、**様々な活動を行うことができる**。

中スタジオ1



- 北側の壁面が鏡張りで、ダンスのリハーサルや多人数でのレッスンに利用可能
- グランドピアノを常設し、コーラス練習や楽器練習に利用可能
- 椅子、机を設置することで講演会、研修会に利用可能
- 本番利用にも対応
- 楽屋としても利用可能

音楽系スタジオ（3室）



- 中スタジオ×1、小スタジオ×2が該当
- コーラス練習や楽器練習等に利用可能
- 椅子、机を設置することで会議や打合せに利用可能

身体表現系スタジオ（3室）



- 中スタジオ×1、小スタジオ×2が該当
- ダンスレッスンや演劇の稽古等に利用可能
- 椅子、机を設置することで会議や打合せに利用可能
- 多様な演出や振り付けに対応できるよう1階まで吹き抜けの天井高を確保している部屋あり

会議系スタジオ（3室）



- 中スタジオ×1、小スタジオ×2が該当
- 会議に利用可能
- 椅子、机を収納することで、平土間の空間としてイベントや展示等での利用も可能
- プロジェクター、マイク等の音響機器等を貸出

出典：高槻城公園芸術文化劇場HP (<https://www.takatsuki-bsj.jp/tat/>) 23

ナントの国立現代アートセンターおよび音楽会場であるle Lieu Uniqueは、芸術的探求の空間であり、ジャンル、文化、観客をミックスした陽気な文化的発酵の場。人が集う場として展示等に利用できるThe Courや、自由にアクセスできるThe Salonがあることに加え、文化芸術活動のサポートにも力を入れている

The Cour – Exhibition Space



- 主に展示・展覧会（exhibition）に利用されるスペース
- 面積：1,200㎡
- 建物の歴史（産業史）が最も残っている場所

The Salon



- 自由にアクセスできるスペースで、その場で閲覧できる何千冊もの本が用意されている

活動サポート

La Libre Usine

- 舞台芸術の創作に特化した施設（右記参照）
- 現代・未来の芸術作品の誕生を支援する、新たな生産能力を提供
- 実験や作品制作に利用可能

レジデンスプログラム

- アーティストが一定期間宿泊しながら制作ができる機会・場所を提供
- 滞在期間中に、他アーティスト等とのコラボレーションを促進し、アーティストのキャリア発展を支援



出典：Le Lieu Unique HP (<https://www.lielieuunique.com/en>) 24

太田市美術館・図書館は、「ものづくり」を通して育まれてきた太田市民の創造性を、これからの「まちづくり」に生かしていくための拠点となることを目指す、まちに創造性をもたらす知と感性のプラットフォーム。美術館・図書館の機能に加え、市民の創作活動を支援する機能・プログラムを提供

まちに創造性をもたらす知と感性のプラットフォーム

- ・ 太田市美術館・図書館は、「ものづくり」を通して育まれてきた太田市民の創造性を、これからの「まちづくり」に生かしていくための拠点となることを目指す
- ・ 斬新な発想により人々の感性を刺激する多彩な美術作品と、創造的発想の源泉となる広範な知識を提供する図書資料を、同時に閲覧できる場所を提供。そのことにより太田市民に内在する創造性を開花させるとともに、創造性あふれる市民とともに、まちに広がり、**中心市街地に賑わいをもたらす**プロジェクトを多彩に展開。太田市の未来を担う「創造的太田人」を育成
- ・ 美術館・図書館の機能に加え、**市民の創作活動を支援**する下記のような機能・プログラムを提供

<p>ワークショップ・ トークショー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供を含む市民が参加できるワークショップの開催や、展示会の出品作家によるワークショップ・トークショーを開催。アーティストと参加者が直接交流できる場を提供
<p>市民参加型 展覧会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民とアーティストが共同で作品を作るプロジェクトも取り入れており、子供たちのアイデアをプロのアーティストが作品化するイベント等を開催。（デザインの商品化や物語のパフォーマンスの創作工程も公開・配信）
<p>図書館機能との 連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 美術館と図書館の機能を融合させ、アーティストに関する書籍や資料を提供。これにより、活動者が多様な情報やインスピレーションを得ることができる ・ アートに関する企画コーナー・特集



出典：太田市美術館・図書館HP (<https://www.artmuseumlibraryota.jp/>) 25

山口情報芸術センターのキーワードは「**フレキシビリティ（柔軟性）**」で、通路を含めたほぼ全てのスペースが、発表の場であると同時に制作の場にもなる。展覧会や公演、映画上映、子ども向けのワークショップなど、多彩なイベントの開催に加え、**市民の文化芸術活動を促進・サポートするプログラム・機能**を備える

活動を促進・サポートするプログラム・機能

やまぐちアートコミュニケータープログラム：架空の学校「アルスコレ」

- ・ **アートや学びに関するイベントの企画制作に携わる人材を育成**するプログラム
- ・ 公募で集まった高校生からシニアまでの幅広い世代のメンバーを対象に、多様なプログラムを実施。イベント制作に必要なさまざまなノウハウはもとより、街の賑わいや、街の新たな魅力を生み出す視点を養う
- ・ 展覧会の開催にあわせ、アーティストと伴走しながらリサーチや制作、展覧会の運営も行う

インフォメーション・スペース



- ・ YCAMからのお知らせを利用者に向けて発信するためのスペース
- ・ 情報を分かりやすく発信し、展示会、ワークショップ、イベント等への**市民の参加を促す**
- ・ 4台の大型モニターが設置されており、ここに現在開催中のイベントや、今後開催するイベントの情報を表示。モニターは**映像作品の展示にも使用可能**で、インスタレーション作品展示、レクチャー等のイベントを開催することもある

コミュニティ・スペース



- ・ ワークショップやレクチャーを中心に、小規模のイベントを開催可能
- ・ 来場者が最新のメディア・テクノロジーに触れるだけでなく、**自らその可能性と意味を主体的に発見し、体験**することを重視している。イベントを通じて、メディア・テクノロジーを扱うためのリテラシーを身につけるとともに、**表現者としての創作意欲を引き出し**、自由な発想と豊かな創造性を持つ人材の育成に寄与する取り組みを実践しており、コミュニティ・スペースはその中心的役割を担っている

出典：山口情報芸術センターHP (<https://www.ycam.jp/>) 26

せんだいメディアテークは、美術や映像文化の活動拠点であると同時に、「すべての人がさまざまなメディアを通じて自由に情報のやりとりができるようお手伝いする公共施設」。そのために次のような理念に基づいたサービスやプログラムを用意



【概要】

- ギャラリー、図書館、映像センター、目や耳の不自由な方への情報提供など**様々な機能を持つ複合施設**
- **壁のないゆったりした空間**を利用し多彩な催し物が行われる
- **ガラス張りの建物は定禅寺通で一際目立つ建物**で、美術や映像文化の活動拠点であると同時に、様々なメディアに関連した活動を支援する公共施設

【サービス】

- ギャラリーやシアターなど、表現の場の提供
- スタジオやワークショップなど、活動の場の提供
- 公益的な情報を収集し、蓄積し、編集し、発信のできる環境の提供
- 最新の知識や情報の提供

【プログラム】

- 美術・映像・メディアに関する展覧会や上映会、ワークショップ
- 障がいのあるかたを含むあらゆる人がメディアを自由に活用できるようにするための教育普及やボランティア活動の支援
- 多くのかたと連携して進める情報収集とデジタルアーカイブ化
- 図書館やさまざまな外部機関と連携する事業の企画

【建物の特徴】

- せんだいメディアテークは、柱としての構造体の役割を担う、各階を貫くうねるチューブが不規則に配置され、床・天井としてのスラブが各フロアで異なる階高を持つ
- ガラスで覆われ、細い鉄柱でできているスパイラル状にうねるチューブには、構造であると同時に階段やエレベーターなど垂直動線が組み込まれている
- また、別のフロアに光だけでなく各階の様子や雰囲気やを伝達する

出典：せんだいメディアテークHP (<https://www.smt.jp/>) 27
Casa「せんだいメディアテーク」(<https://hash-casa.com/2017/07/20/toyoitosmt/>)

施設機能一覧

機能	席数・定員・面積	使用例
ギャラリー 4200 a	700㎡	平面や立体作品の展示、映像等のメディアを用いた表現にも対応 ※ aとbを合わせて利用も可能 、可動パネルで空間を自由に仕切ることが可能
ギャラリー 4200 b	680㎡	
ギャラリー 3000 a-1	200㎡	平面や立体作品の展示 ※ (a, b, cそれぞれ) 1と2, aとb, bとc, aとbとcの 組み合わせで利用可能
ギャラリー 3000 a-2	200㎡	
ギャラリー 3000 b-1	180㎡	
ギャラリー 3000 b-2	180㎡	
ギャラリー 3000 c-1	195㎡	
ギャラリー 3000 c-2	195㎡	
スタジオ a	20人	パソコンや映像機器を使った制作、ワークショップ・レクチャー
スタジオ b	20人	
スタジオ c	5人	作業、打ち合わせ（点字プリンターなど視聴覚バリアフリーサービス機材あり）
オープンスクエア	300席、460㎡	講演会、シンポジウム、コンサート、展示発表会、演劇等
スタジオシアター	180席、170㎡	上映会、講演会、研修会等
ラウンジ	不明	7階スタジオでのさまざまな市民活動の展示・発表の場
2階会議室	20人、48㎡	会議、打ち合せ、研修等
7階会議室 a	20人、48㎡	会議、打ち合せ、研修等 ※ 間仕切りを開放することで1室として利用
7階会議室 b	20人、50㎡	
録音室	1-2人	映像の編集、音声の録音・編集
託児室	8人、26㎡	他の貸出施設を利用する際の託児サービスの提供
その他：プロジェクトルーム、控室、荷解室、ホワイエ、仙台市民図書館等		

機能例

せんだいメディアテークには、可動パネルで空間を自由に仕切ることができるギャラリーや、多目的に利用可能なオープンスクエア、スタジオシアター等の機能がある。

ギャラリー 4200 (a・b)



- a、b合わせての利用が可能
- 幅4mの可動パネルで空間を自由に仕切ることが可能
- 平面・立体作品の展示だけでなく、映像等さまざまなメディアを用いた表現に対応可能な仕様

ギャラリー3300 (a・b・c)



- a、b、c合わせての利用が可能
- 可動パネルで各区画内を区切ることも可能

スタジオシアター



- 映会、講演会、研修会などに使用可能
- 映写機、デジタルシネマサーバー、プロジェクター、スクリーンを備えている
- チャンネルドルビーデジタル準拠の音響設備あり

オープンスクエア（多目的ホール）



- 講演会、シンポジウム、コンサート、展示会、演劇等多目的に使用できる空間
- 半透過型フロント/リア兼用スクリーン、プロジェクター、遮音性能を持つ可動パネルあり

出典：せんだいメディアテークHP (<https://www.smt.jp/>) 29

茅野市民館は、茅野市美術館を併設し、劇場・音楽ホール、市民ギャラリー、図書室、レストランなどさまざまな機能を合わせ持ち、利用する方によって多様な使い道のある施設やスペースからなる、文化複合施設。「市民一人ひとりが主人公になれる場」の理念のもと、建設計画から市民が直接参加してつくられた。JR茅野駅東口に直結した立地で、さまざまな表現やアートに親しみ、文化をつくり、人々が集う、地域の交流拠点を狙っている。

施設機能一覧

機能	席数・定員・面積	使用例
マルチホール	780席	演劇、音楽、展示、パフォーマンス
コンサートホール	300席	音楽（音響を第一に考えて設計）
ロビー	不明	多目的
美術館	常設展示室 250㎡ 企画展示室 350㎡	展示（可動パネルで区切ることが可能）
図書室	不明	読書、作業・勉強等（CD・DVD、イベント情報の発信あり）
アトリエ	200㎡	舞台稽古、小規模発表会・ワークショップ（バレー・パー、鏡あり）
スタジオ（A、C）	不明	音楽（ドラムセット、マイク、アンプ、ピアノあり）
イベントスペース	300㎡（室内：110㎡）	イベント
レストラン	不明	食事



機能例

アトリエ



- マルチホールの舞台と同じ大きさを確保したアトリエは、舞台稽古に加え、小規模な発表会やワークショップなどにも利用可能
- 吊物（照明バトン、道具バトン）、バレー・パー、鏡、カーテン、遮光幕、映写スクリーン（コンサートホールと兼用）あり

イベントスペース



- 茅野駅前にあった寒天倉庫の材料を利用して造られたイベントスペース
- 見晴らし台付の約300㎡（うち室内部分110㎡）のスペース
- 持込用電源盤あり

出典：茅野市民館HP (<http://www.chinoshiminkan.jp/>) 30

図書室×文化施設のシナジー



- 茅野市民館図書室は、JR茅野駅から一番近い場所にある図書室。駅のホームと平行するガラス張りのスロープ沿いにあり、図書室内のガラス面から芝生の中庭を臨む、開放的な空間。電車や送迎を待つ短い時間でも、気軽に立ち寄ることが可能
- 図書、雑誌だけでなく、CDやDVDなどの視聴覚資料を取りそろえ、**茅野市民館・茅野市美術館の催事に関連した情報も発信**。地域情報なども閲覧でき、市民館らしいラインナップで**文化・芸術に親しむお手伝い**も行う
- 特集コーナーとして、文化芸術や歴史に関する図書の紹介等を行っている**（下記に例を記載）

特集コーナーの例

ピアノの魅力



縄文+アート



アートってなんだ？

出典：茅野市民館HP (<http://www.chinoshiminkan.jp/>) 31

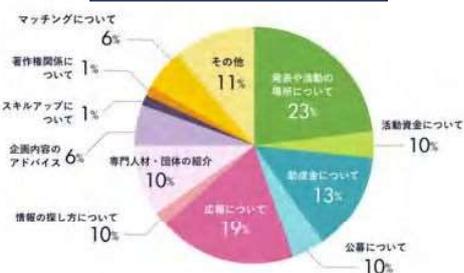
札幌市民交流プラザ（北海道札幌市）文化活動支援

札幌市民交流プラザ（※P17の展示空間ご参照）には、**文化芸術活動を支援するためのサービス機能**がある。

相談サービス



- 文化芸術活動に関する課題・お悩みに関する相談**を受け付けている
- 日々の活動での困りごとの相談に対して職員が課題解決に向けて一緒に考える
- 事前予約制、利用無料
- 対面、オンライン、メールでの相談が可能

SCARTS相談サービス：
利用内容別実績

インフォメーションコーナー



- スタッフが常駐し、**施設利用に関する問合せやチラシの持ち込み等に対応**
- 札幌市内で行われる文化芸術イベントを中心にさまざまな広報物（チラシ・DM等）を配架
- 札幌市民交流プラザで開催する催し、札幌市内で開催する文化イベントの情報について、文化イベント情報のチラシ・DMの受け取りの対応をするインフォメーションカウンターあり
- 職員不在時用の「チラシ受付用ポスト」設置

チラシ受け取り用ボックス

出典：札幌市民交流プラザHP (<https://www.sapporo-community-plaza.jp/>) 32

犀の角（長野県上田市）（1/2）

人が集まる施設

「犀の角（さいのつ角）」は、上田市の中心地・海野町商店街の一角にあり、劇場設備とカフェを持つシアターと簡易宿泊施設のゲストハウスからなる民間の文化施設。



観る

- 舞台芸術作品の紹介、地域演劇人への支援、アーティスト同士の出会いと交流を目的として2016年から開催している「上田街中演劇祭」や、主催公演等を通して、優れた舞台芸術作品の鑑賞機会を提供



創る

- 犀の角には劇場のみならず、稽古場として使えるスタジオや叩き場、宿泊施設など、アーティストインレジデンス（滞在制作）が可能な施設が整っている



出会う / 交流する

- 劇場にカフェとゲストハウスが併設されていることにより、アーティスト同士が、アーティストと地域住民が、地域住民同士が、旅人とアーティストが会える
- 犀の角で起こる偶然の出会いが、次の作品創作につながり、また若者の人生を変えることもあり、このような出会いと交流を犀の角は大切にしている



視野を広げる

- 都市部に比べて演劇人口が圧倒的に少ない地方都市上田にあり、演劇に興味関心を持つ人を増やすことは、演劇文化を継承していくためにも最も重要なミッションのひとつと捉えている
- ソロアーティストのためのオムニバスイベント「犀の夜」や、舞台俳優が落語に挑戦する「犀の寄席」など様々な企画を通して、新たな才能の発掘に努める



出典：犀の角HP (<http://sainotsuno.org/>) 33

犀の角（長野県上田市）（2/2）

人が集まる施設

劇場・イベントスペース・カフェバー



レンタルスペース01

概要	<ul style="list-style-type: none"> • 海野町商店街に面した犀の角本館の劇場・カフェバー・レンタルスペース • 商店街という日常空間の中にある、“開かれた非日常空間”として新しい出会いや発見を創造し、街に還元していくことを目指している
面積	イベントスペース 120㎡
用途	演劇公演 / 音楽ライブ / トークショー / 展示会 / 勉強会 / パーティなど
備品	プロジェクター、スクリーン、スピーカー、マイク、調光卓、調光ユニット、カッターライト等



- 面積
- 120㎡
- 用途
- 劇団の稽古場、小規模の作業場、アトリエ等

レンタルスペース02



- 面積
- 120㎡
- （フローリング、西側壁一面鏡張り）
- 用途
- 各種芸術団体の練習場

出典：犀の角HP (<http://sainotsuno.org/>)

(参考：地域で活動する団体) 信州アーツカウンシル (長野県) (1/2)

信州アーツカウンシルは、信州・長野県に永く受け継がれてきた、自然豊かな風土から紡がれる地域文化や、学びを大切にする精神から醸成される文化芸術を、未来の地域へ持続的に発展させていくことを目指している。地域の担い手の方々をはじめ**長野県、大学、公的機関、民間支援団体、市町村と緩やかに連携し、地域の活性化や社会の課題解決に向け、地域文化や文化芸術の取り組みを創造的に展開し、持続的に発展させていく**ため2022年に活動をスタート。前頁の扉の角での活動も行っている。

ミッション

- 長野県全域において文化芸術活動の創造力・発信力を高める
- 文化芸術活動のポテンシャルを社会の様々な領域に広げる
- 長野県内の文化芸術活動が持続的に発展する環境を醸成する



出典：信州アーツカウンシルHP (<https://shinshu-artsCouncil.jp/>) 35

(参考：地域で活動する団体) 信州アーツカウンシル (長野県) (2/2)

■地域創造・交流プログラム

シンビズム

- シンビズムは、2016年度より長野県芸術監督の本江邦夫氏のもと、県内美術館などの学芸員が所属を越えて交流し、同じ立場で協議しながら信州ゆかりの出品作家を選定、これまでに第1回～第5回展まで計18会場にて全76名の作家を紹介
- 平成30（2018）年度「シンビズム2」展に出品した長野県ゆかりの現代美術作家に焦点をあてた「Re-SHINBISM 2 そして未来へ」展を**茅野市美術館で開催**
- また、学校や美術館、地域での対話鑑賞の推進を通して、地域連携を深める活動を展開

NAGANO ORGANIC AIR

- NAGANO ORGANIC AIRは様々なジャンルで活躍するアーティストが、長野県内の各地域に滞在し、創造活動を行うアーティスト・イン・レジデンス（AIR）の取組
- ORGANIC=有機的をキーワードに、公立文化施設や地域の文化芸術団体、教育委員会などがホストとなり、地域での創作のプロセスをコーディネートしながら、**アーティストとの双方向的な協働を試みる**
- 長野の豊かな自然や歴史文化、子どもたちの学びの場、食や農など、創作意欲を刺激するローカルな営みとアーティストの出逢いを種に、**長野県におけるアートと創造活動の可能性を育み、地域に有機的に広げ、持続的な環境づくりに繋げる**



■連携・協働プログラム

SHINSHU Arts-Climate Camp

- 信州アーツカウンシルと信州大学人文学部の連携企画
- 文化芸術の視点から気候変動や地球環境の課題を見つめ、長野県において行われている様々な取り組みを知り、人に学び、共に考え、変化していくコモンスペースを作っていくプロジェクト**



■社会包摂（インクルーシブ）プログラム

ザワメキサポートセンターとの連携

- 誰もが文化芸術活動に参加できる仕組みづくりを進めるため、社会福祉法人長野県社会福祉事業団に令和4年度設置されたザワメキサポートセンター（長野県障がい者芸術文化活動支援センター）と協働**
- ザワメキサポートセンターは、2016年に始まった「ザワメキアート展 ～信州の障がいのある人の表現とアール・ブリュット」の取組の成果を引き継ぎ、県内における障がいのある人の**芸術文化活動の環境整備、支援等**を行っている

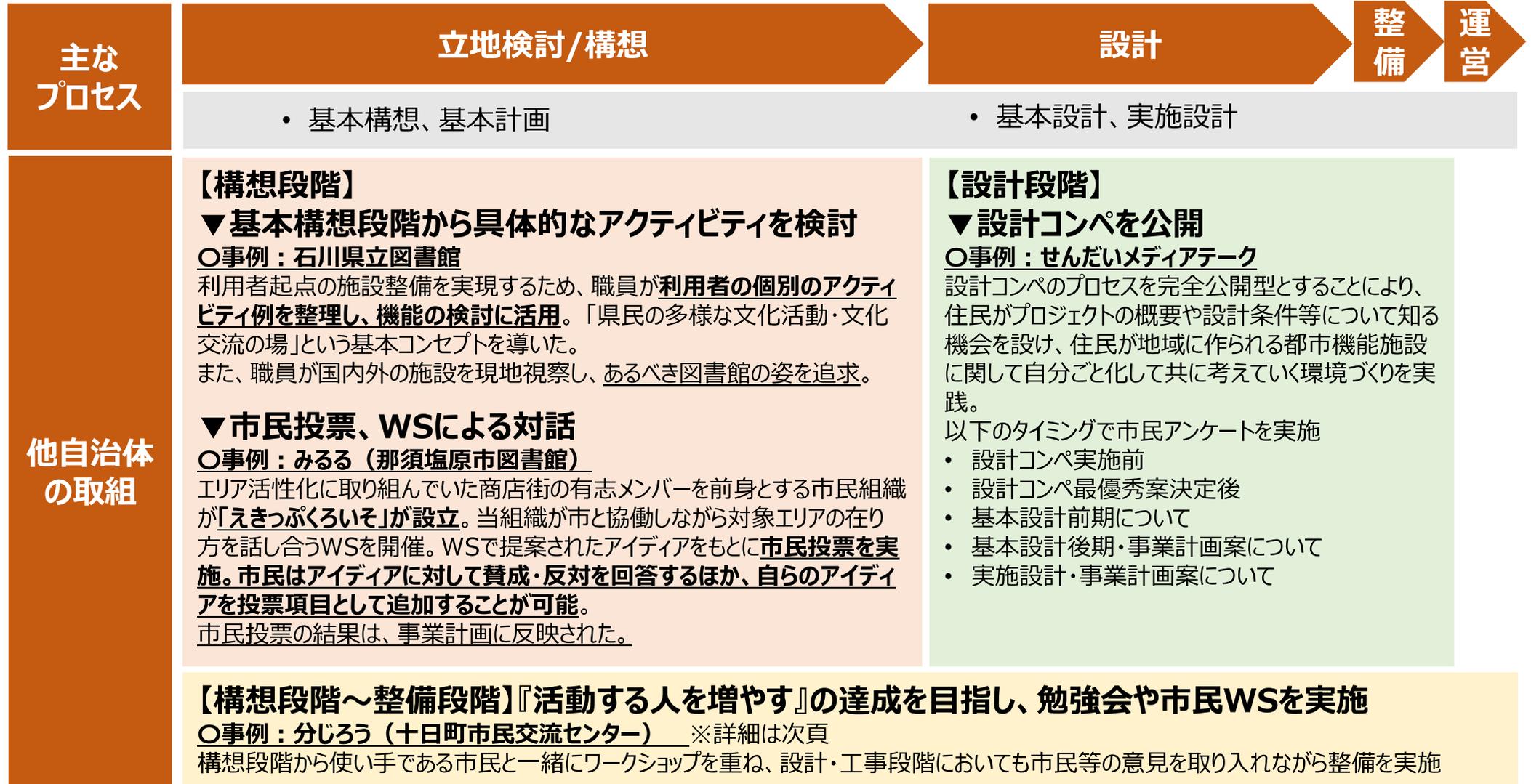


出典：信州アーツカウンシルHP (<https://shinshu-artsCouncil.jp/>) 36

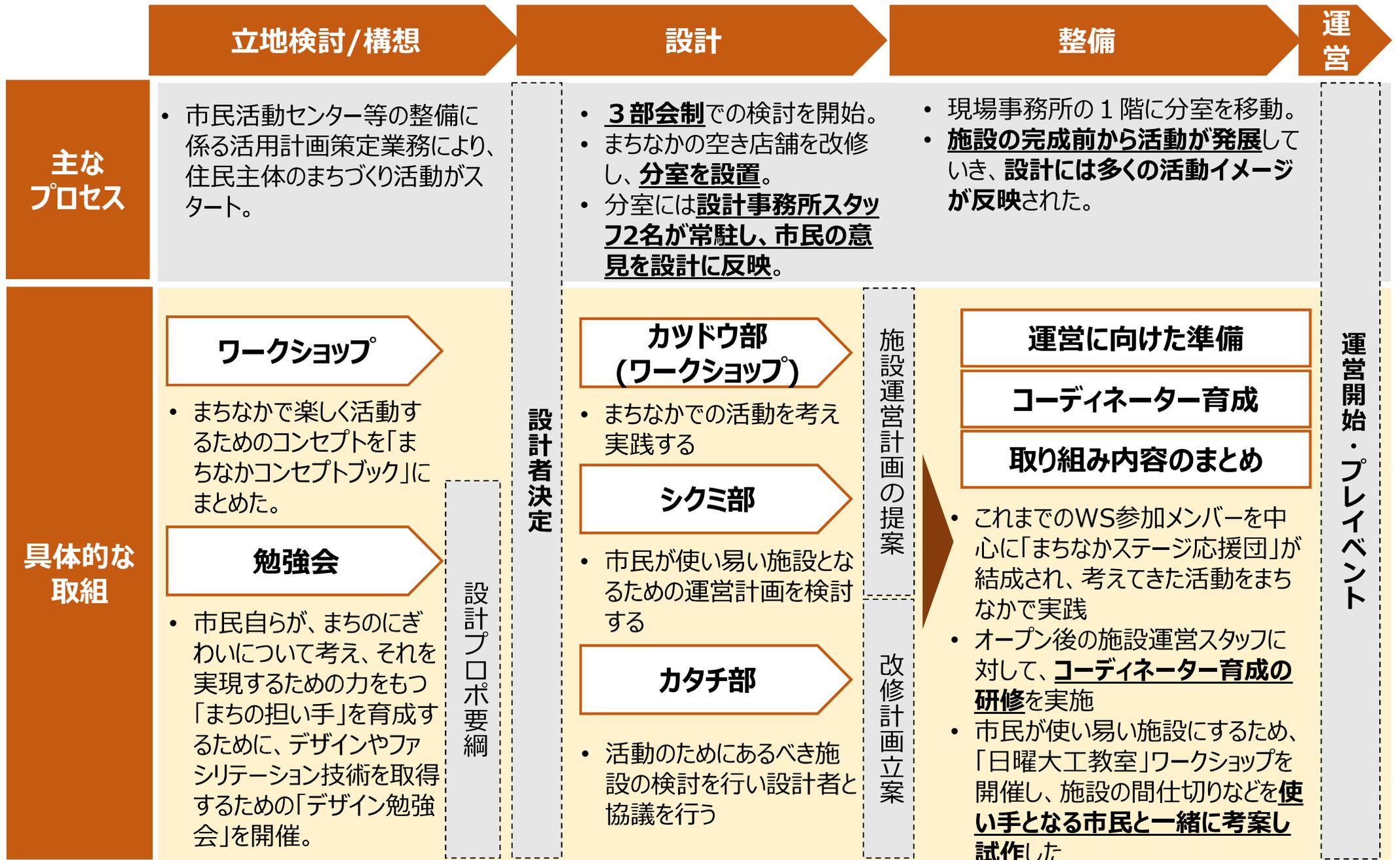
施設の整備・運営に向けた取り組み事例

効果的な施設整備・運営のために、他自治体が実施していた工夫の例は以下のとおり。

構想段階から具体的な活動内容を想定したうえで他施設を現地視察しあるべき姿を追求することや、構想段階から設計段階までの各段階で市民の意向を確認しながら進めることにより効果的な施設整備に寄与している。



分じろう（十日町市民交流センター）の例



(参考) 石川県立図書館 施設概要

第2章 ケーススタディの実施～PPP+P(People)事例を中心に～

石川県立図書館 (概要)

(図書館、文化交流機能)

凡例

都市再生整備計画の交付期間



(出典：石川県立図書館ウェブサイト)

事業背景・目的

- ・ 老朽化が進んだ県立図書館の建て替えにあたり、より敷地が十分でアクセスが良好な金沢大学工学部跡地に移転・建替することが決定。
- ・ 県民の多様な文化活動・文化交流の場となるため、図書の貸出や閲覧機能だけでなく、公文書館機能・文化交流機能を一体的に備えた図書館を目指す。

現状効果

- ・ 利用者の増加
(開館後半年で約60万人)
- ・ 周辺の変化
(元々図書館に来ていなかった層を呼び込む等、訪れる人の属性が変化)

今後の挑戦

- ・ 来館者の急増に対応可能な体制構築



上記内容の更新
方法は、[p.30を参照](#)



施設類型	文化施設
場所	石川県金沢市小立野2-43-1
施設概要	【図書館・交流施設】 図書館をはじめ文化交流機能を備えた複合機能施設
延床面積	22,720㎡
発注者	石川県
事業者	設計：環境デザイン研究所 運営：石川県

事業スケジュール

平成28年8月	新石川県立図書館基本構想検討委員会設立
平成29年2月-3月	パブリックコメント実施
平成29年3月	新石川県立図書館基本構想
平成29年度～	基本設計
平成30年度～	実施設計
令和元年度	着工、展示設計
令和2年度	YouTubeチャンネル開設、サイン計画・家具計画
令和3年10月	本多町の県立図書館閉館
令和3年12月	竣工
令和4年4月	石川県図書館条例改廃、県立図書館が石川県教育委員会から知事部局（県民文化スポーツ部）へと移管
令和4年7月	新県立図書館開館

(参考) みるる (那須塩原市図書館) 施設概要

第2章 ケーススタディの実施～PPP+P(People)事例を中心に～

那須塩原市図書館「みるる」等 (概要)

(図書館、市民活動支援)

凡例

都市再生整備計画の交付期間



(出典：那須塩原市提供)

事業背景

- 空き家等の増加、人口減少と高齢化が進む中、コンパクトで持続可能な都市構造に転換させるため駅を中心とした地域交流を促進し中心市街地活性化等を実現すべく、駅前図書館及びまちなか交流センター等を整備

事業目的

- 住民と観光客、及び異業種間の新たな交流、商店街の駅周辺の再興

現状効果

- 利用者の増加 (年間約40万人)
- 周辺の変化 (駅前と商店街との導線のつながり、飲食店等の開店)



今後の挑戦

- 地元住民/団体が主となった運営等



上記内容の更新方法は、[p.30](#)を参照



施設類型	文化施設
場所	栃木県那須塩原市本町 (黒磯駅前)
施設概要	みるる：図書館 くるる：交流センター
延床面積	みるる：約5,000㎡ (地上2階) くるる：約1,300㎡ (地上1階)
発注者	那須塩原市
民間事業者	みるる設計：UAO くるる設計：フジワラテッペイアーキテクツラボ+針谷将史

事業スケジュール

平成16年	黒磯市中心市街地活性化基本計画
平成19年	黒磯駅前活性化委員会 (若手経営者主体の組織) 発足
平成23年	「黒磯駅前広場整備基本計画」の検討
平成26年	都市再生整備計画事業開始。えきまっぷくろいそ (市民有志の組織) のワークショップを計5回開催したのち、市民投票を実施。
平成27年	駅前図書館等基本設計・実施設計業務委託に係る公募プロポーザル実施。
平成28年	みるる、くるる基本設計・実施設計着手。
平成29年	みるる、くるる着工。「まちなか交流センター管理運営方針」策定。「黒磯本通り周辺街なみ環境整備方針」策定。「第2次那須塩原市総合計画」策定。
平成31年	くるる完工。まちなか交流センター管理運営方針改定。
令和1年7月	くるる開館。
令和2年1月	みるる完工。図書館運営業務委託に係る公募プロポーザル実施。
令和2年9月	みるる開館。
令和3年	まちなか交流センター一部事務委託公募プロポーザル実施。

(参考) せんだいメディアテーク 施設概要

第2章 | ケーススタディの実施～PPP+P(People)事例を中心に～

せんだいメディアテーク (概要)

(図書館、市民活動支援)



(出典：せんだいメディアテークウェブサイト)

事業背景・目的

- 市民ギャラリー、市民図書館などの機能を「メディアテーク」の名の下に一体化し、単なる複合施設にとどまらない21世紀にふさわしい生涯学習推進の市民施設を建設するもの。
- メディアテークは、美術や映像文化の活動拠点であると同時に、全ての人がさまざまなメディアを通じて自由に情報のやりとりができるようお手伝いすること。

現状効果

・利用者の増加
(年間約100万人)

・周辺の変化 (街の風景、訪れる人の属性の変化)



今後の挑戦

・自ら考え、行動する人を育成したい (メディアリテラシーや公共空間リテラシーを育む等)



上記内容の更新
方法は、[p.30](#)を参照



施設類型	文化施設
場所	仙台市青葉区春日町 (定禅寺通)
施設機能	図書館をはじめイベントスペース、ギャラリー、スタジオなどからなる。
延床面積	約21,500㎡ 地下2階 地上7階
発注者	仙台市
事業者	設計：株式会社 伊東豊雄建築設計事務所 運営：財団法人仙台市市民文化事業団 (指定管理者)

事業スケジュール

1989年	県芸術協会が大型ギャラリーを中心とした美術館建設の陳情書を提出
1992年	定禅寺通交通局跡地に新市民ギャラリーの建設方針が決定。新市民ギャラリーを青葉区図書館 (現市民図書館) との併設にする方針を決定。
1993年	「新市民ギャラリー建設検討委員会」が建設基本構想の提言を市長へ提出。
1994年	市民ギャラリー計画につき市民各層からの意見を聞く。定禅寺通街づくり協議会から、新市民ギャラリーなどの建設について陳情書が提出される。市民ギャラリーなどの計画について、市民懇談会 (わいわいトーク) の開催と市民アイデア募集を実施。設計協議開始
1995年	設計競技の選定。基本設計着手。第1回メディアテーク・プロジェクト検討委員会。
1996年	実施設計着手。プロジェクト検討委員会報告書提出。メディアテーク利用団体などヒアリングの実施。外部専門家によるメディア事業検討のためのプロジェクトチーム開始。プレイベント実施。
1997年	プロジェクトチーム運営、プレイベント実施。建築工事施工業者決定。
1998年	プロジェクトチーム運営、プレイベント実施。メディアテークホームページ試行開始。
1999年	プロジェクトチーム運営、プレイベント実施。仙台ひと・まち交流財団にメディアテーク準備室設置プレイベント実施。

(参考) 分じろう (十日町市民交流センター) 施設概要

第2章 ケーススタディの実施～PPP+P(People)事例を中心に～

十日町市市民交流センター・活動センター (市民活動支援)



(出典：十日町市ウェブサイト)

事業背景

- ・ 少子高齢化、空き家、空き地の増加、商業機能の低下などの課題を解決するため、「まちなか」のにぎわい創出に向けた取り組みをスタート。
- ・ 「まちなかステージづくり」では、『活動する人を増やす』事の達成を目指し、勉強会や市民ワークショップを実施し、2つの施設に反映。

事業目的

- ・ 市民主体のまちづくり、活動をする人を増やす等

現状効果

- ・ 市民主体のまちづくり、新たなイベントの創出



今後の挑戦

- ・ 周辺の変化 (中心市街地、各集落における活動するひとの増加等)



上記内容の更新方法は、[p.30](#)を参照



「分じろう・十じろう」 (概要)

文化施設	
施設類型	文化施設
場所	新潟県十日町市本町2-226-1 (分じろう) / 3-6-4 (十じろう)
施設概要	市民活動と交流のための施設
延床面積	分じろう：1,876.71㎡ 十じろう：821.11㎡
発注者	十日町市
事業者	設計：青木淳建築計画事務所 運営：特定非営利活動法人 市民活動ネットワークひとサポ (指定管理者)

事業スケジュール	
平成24年度	都市再生整備計画開始 (地方都市リノベーション事業)
平成25年	十日町市中心市街地活性化基本計画の目標である「活動する人を増やす」「訪れる人を増やす」のために、市民活動と交流を促進させる二つの拠点施設を整備することとなった
平成25年8月	市民活動センター等の整備に係る活用計画策定業務プロポーザルによりコミュニティデザイン専門家を選定
平成26年度	市民意見を取り入れた設計プロポーザル実施。空き店舗をリノベーションし、十日町分室を開設。基本計画の策定。
平成27年度	施設オープンに向け、「まちなかステージ応援団」結成。施設着工のタイミングで、設計段階で使用していた「ブンシツ」を閉鎖し、現場事務所に「ブンシツ2」を開設。
平成28年4月	竣工
平成28年6月	「分じろう」「十じろう」がオープン

凡例

都市再生整備計画の交付期間